



まだまだ残暑が続き、日中は汗ばむことも多いですね。これからは朝晩の寒暖差も出てきますので、衣服の調整をして快適に過ごしましょう。季節の変わり目は気温の変化で体調を崩し、夏の疲れが出やすくなる時期です。ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとって元気に過ごしましょう。

9月9日は救急の日



救急の日は、“救急について関心や理解を深めよう”という日です。**救急**とは、急に大変なことが起こった時に救うこと。特に急に病気になった人やケガをした人に応急の手当をすることです。

お家の中にも事故やケガを招く危険な物がたくさんあります。子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ 事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

《家庭の中で事故やケガを招く危険なもの》 ※子どもの手の届く場所に置いてはいけないもの

薬 洗剤 たばこライター ポット 炊飯器 針 包丁などの刃物 ボタン電池
喉に詰まる恐れのあるもの（直径4.5mm程度）

《家庭の中で気を付けるべき場所・気を付けること》

- ・ベランダ・・・踏み台になる物は置かない
- ・コンセント・・・いたずらできないようにする
- ・浴室・・・子ども1人で勝手に入れないように工夫する
- ・食事・・・遊び食べに注意する（食べ物に喉に詰まることもある）



緊急事態で救急車を呼ぼうか判断に困ったとき・・・

まずは「**子ども医療でんわ相談**」に相談してみましょう **#8000**



- ・保護者の方が、休日・夜間のお子さんの症状にどのように対処したらよいか、病院を受診した方がよいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師に電話で相談できるものです。
- ・全国同一の短縮番号**#8000**をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口へ自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院などのアドバイスを受けられます。※実施時間帯は自治体によって異なります。（東京都→平日18:00～翌朝8:00 休日8:00～翌朝8:00）

#8000と#7119の違い・・・対象年齢、相談の目的、対応体制にあります。

	対象年齢	主な目的	対応時間
#8000	15歳未満の子ども	夜間や休日などに子どもの急な発熱やケガで家庭での対処法や病院受診の必要性を相談する	自治体によって異なる
#7119	年齢制限なし	突然の体調不良やケガで「救急車を呼ぶべきか」「今すぐ病院に行くべきか」迷った時に相談する	原則として24時間365日



ご家庭での事故やケガへの注意は万全でしょうか？ 小さなお子さんはまだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が安全な環境を整えてあげましょう。



病後児保育室くろーばーの利用には事前登録が必要となります。

ご質問などありましたらお気軽にお問合せください。



令和8年9月